

作者について



椋鳩十（むくはとじゅう）
（一九〇五—一九八七）

椋鳩十さんは、長野県生まれの作家です。子ども向けの動物文学を数多く書いています。きびしい自然の中で生きる動物のすがたや、人間と動物との心の交流、命の大切さなどをえがきました。

また、鹿児島県の図書館長をつとめ、「母と子の二十分間読書」運動を全国に広めたことでも知られています。

他の作品



他の作品には、『片耳の大シカ』（小泉 澄夫／絵、理論社）、『月の輪グマ』（ポプラ社）、『マヤの一生』（吉井 忠／絵、大日本図書）、『大空に生きる』（ポプラ社）などがあります。